

登米市農業生産 1 日 1 億円の令和 3 年検証について

1. 農業生産 1 日 1 億円達成に向けて

登米市では、本市農業の現状や米、野菜、畜産等の品目ごとの振興方策及び支援策がどのような効果として現れているかを測定するため、「登米市農業生産 1 日 1 億円創出プラン」を平成 19 年に策定（平成 19～27 年度）し、目標に向けて取り組んできました。この「登米市農業生産 1 日 1 億円創出プラン」は平成 27 年度で計画期間が終了しましたが、農業生産 1 日 1 億円の目標については、平成 27 年度に新たに策定した本市農業行政の基本指針となる「登米市農業振興ビジョン（計画期間：平成 28～令和 7 年度）」に引き継がれました。

「登米市農業振興ビジョン」では、農業生産 1 日 1 億円達成に向けて、令和 7 年の目標産出額を 365 億円に設定し、各施策の取り組みを積極的かつ効果的に推進していきます。

2. 農業産出額の推計

単位：百万円

品目	H26 年実績 (基準年)	R 2 年実績	R 3 年市推計値	R2 年-R3 年増減	R2 年-R3 年増減の主な要因	R7 年目標 (最終)	達成率 3 年/7 年
米	9,890	13,350	8,969	△4,381	米は、作付面積、収穫量ともに微増したが、仮渡金 が前年度に比較して 1,500 円から 3,200 円下が ったこと等から 43 億 8 千 1 百万円の減となった。	13,240	67.7%
麦類	20	20	32	12	麦類は、作付面積が大麦は増加し小麦は減少した が、全体収穫量と単位面積当たりの標準収入金額が 上昇したことから 1 千 2 百万円の増となった。	140	22.9%
豆類	320	440	482	42	豆類は、作付面積、収穫量、単位面積当たりの標準 収入金額が前年度を上回ったことから 4 千 2 百万 円の増となった。	1,720	28.0%
野菜類	3,730	3,080	3,016	△64	野菜は、きゅうり、なす等の販売単価の低下により 出荷額が減少し、6 千 4 百万円の減となった。	3,290	91.7%
果実	130	170	125	△45	果実は、4 月の低温による凍霜害によるリンゴの出 荷量の減や販売単価の低下等により 4 千 5 百万円 の減となった。	190	65.8%
花き類	300	274	277	3	花き類は、全体的な販売単価の上昇等により 3 百万 円の増となった。	360	76.9%
工芸農 作物	20	10	9	△1	工芸農作物は、作付け面積の減少等により 1 百万円 の減となった。	10	90.0%
種苗・ 苗木・ その他	90	46	56	10	種苗・苗木は、販売単価の上昇等により 1 千万円の 増となった。	50	112.0%
畜産	13,160	15,080	15,936	856	畜産は、牛・豚の飼育頭数の増加、販売単価の上昇 等により 8 億 5 千 6 百万円の増となった。	16,220	98.2%
加工農 産物	170	170	170	0	加工農産物は、加工品の販売額が前年と同額であ った。	1,155	14.7%
特用林 産物	99	72	71	△1	特用林産物は、きのこ類の生産量減少等により、1 百万円の減となった。	125	56.8%
合計	27,929	32,712	29,143	△3,569		36,500	79.8%

※農業産出額について

令和 3 年農業産出額については、東北農政局から市町村別農業産出額がまだ公表されていないため市調査の推計値となる。

令和 2 年農業産出額は、対象としている 11 品目中、7 品目（米、麦類、豆類、野菜類、果実、工芸農作物及び畜産）については、東北農政局が令和 4 年 3 月に市町村別農業産出額を公表したことから、その数値を使用。花き類、種苗・苗木・その他、加工農産物については市の推計値を使用し、特用林産物については宮城県の特用林産物粗生産額算出表の数値を使用。

3. 総括

令和3年産出額は、畜産が飼育頭数の増加や販売単価の上昇等により産出額が伸びているが、米の仮渡金単価の大幅な下落や野菜類の販売単価の下落、果実の凍霜害による出荷量減少等の影響により、総産出額は291億4千3百万円で前年比89.1%（35億6千9百万円減）となった。

なお、農林水産省が公表した令和2年農業産出額で、本市は東北3位（全国20位）、畜産のうち肉用牛は東北1位（全国7位）の結果となった。

【参考資料】

○農業生産 1 日 1 億円創出プラン

1. 農業産出額の推計

単位:百万円

品目	平成20年 市推計値	平成21年 市推計値	平成22年 市推計値	平成23年 市推計値	平成24年 市推計値	平成25年 市推計値	平成26年 実績	平成27年 実績	平成28年 実績	平成29年 実績	平成30年 実績	令和元年 実績
米	13,150	13,462	12,240	16,199	17,540	14,512	9,890	10,470	11,570	12,790	13,490	13,990
麦類	53	20	53	103	116	112	20	10	10	10	10	20
豆類	559	459	559	705	1,293	1,083	320	370	300	250	250	370
野菜類	3,041	2,659	3,048	3,081	2,642	2,911	3,730	3,980	3,890	3,740	3,940	2,820
果実	301	337	429	334	276	264	130	140	130	150	160	160
花き類	334	380	520	381	388	385	300	320	320	310	300	274
工芸農作物	47	34	32	27	30	24	20	20	20	10	10	20
種苗・苗木・ その他	40	55	55	84	46	40	90	70	80	80	80	46
畜産	13,770	13,287	13,888	12,978	14,341	15,157	13,160	14,210	15,240	15,290	15,100	15,580
加工農産物	70	100	98	167	160	170	170	170	170	170	170	170
特用林産物	101	110	107	81	120	114	99	103	97	94	131	99
米～畜産 計							27,660	29,590	31,560	32,630	33,340	33,280
加工農産物 及び特用林 産物 計							269	273	267	264	301	269
合計	31,466	30,903	31,029	34,140	36,952	34,772	27,929	29,863	31,827	32,894	33,641	33,549

① 農業産出額については、農林水産省が平成 19 年に市町村レベルの農業産出額統計の作成を取りやめたことから、本市独自に農業産出額を推計してきた。

② 平成 26 年から平成 30 年の農業生産額については、農林水産省が市町村別農業産出額を公表していることから、対象としている 11 品目中、9 品目（米、麦類、豆類、野菜類、果実、花き類、工芸農作物、種苗・苗木・その他及び畜産）は、農林水産省公表の市町村別農業産出額を、残り 2 品目（加工農産物及び特用林産物）は、市調査の推計値を使用している。

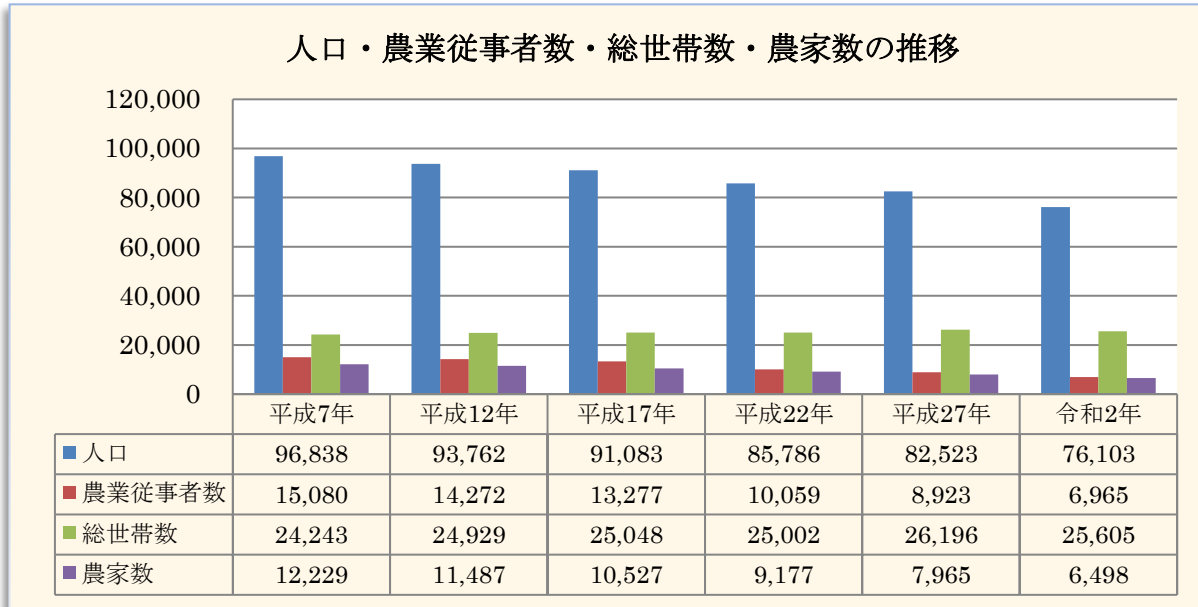
令和元年農業産出額は、対象としている 11 品目中、7 品目（米、麦類、豆類、野菜類、果実、工芸農作物及び畜産）は、農林水産省公表の市町村別農業産出額を、花き類、種苗・苗木・その他、加工農産物については市の推計値を使用、特用林産については宮城県の特用林産物粗生産額算出表の数値を使用している。

○登米市農業の概要

1. 農家数及び農家人口の推移

本市の総世帯数は、年々増加傾向にあります。人口は減少傾向にあり、令和2年の人口は76,103人となっています。また、農家数、農業従事者数とも減少傾向にあり、令和2年は、農家数が6,498戸、農業従事者数が6,965人となっています。

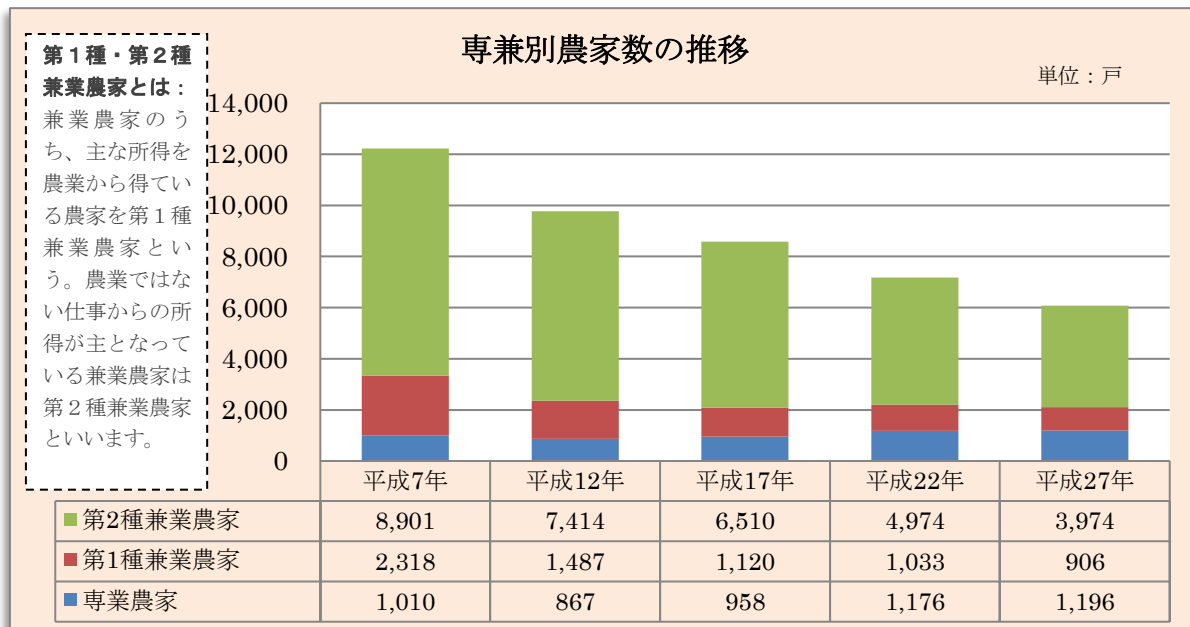
※平成27年度は東日本大震災の影響により増加



※資料：国勢調査及び農林業センサスより

2. 専業兼業別農家数

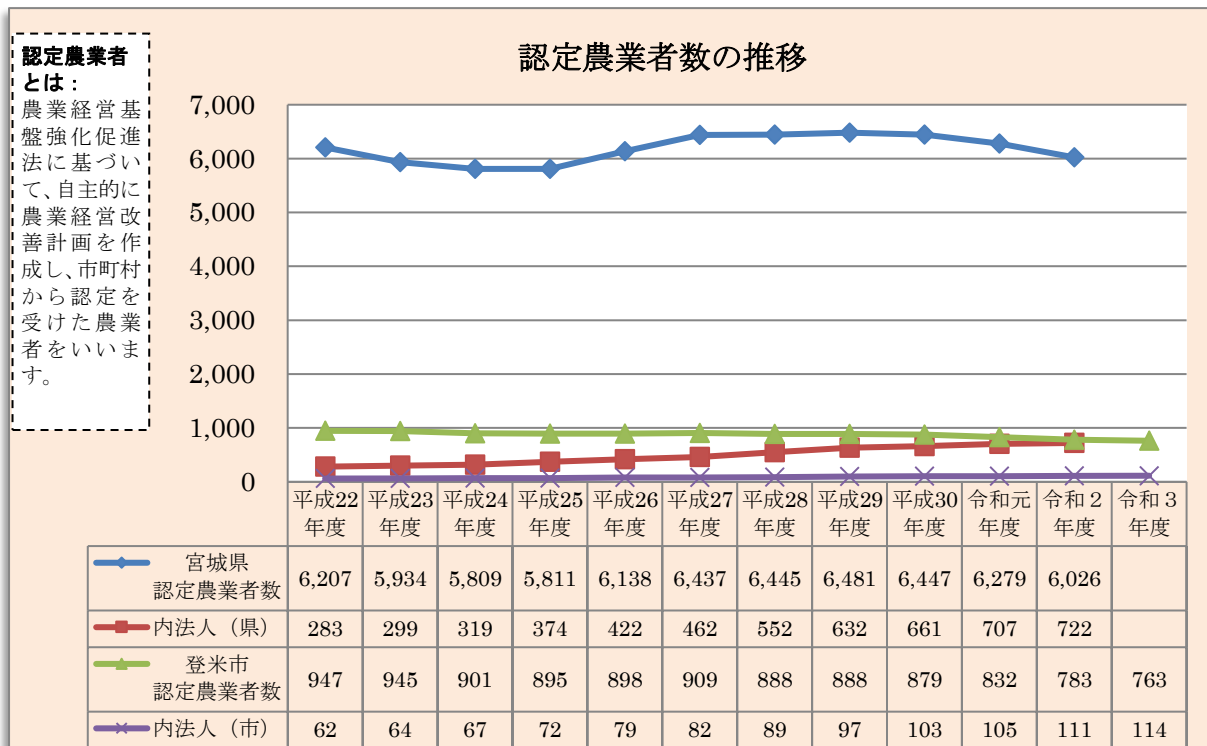
専業農家数は、平成17年から増加傾向にありますが、第1種・第2種兼業農家数は減少が続いています。



※資料：農林業センサスより

3. 認定農業者数

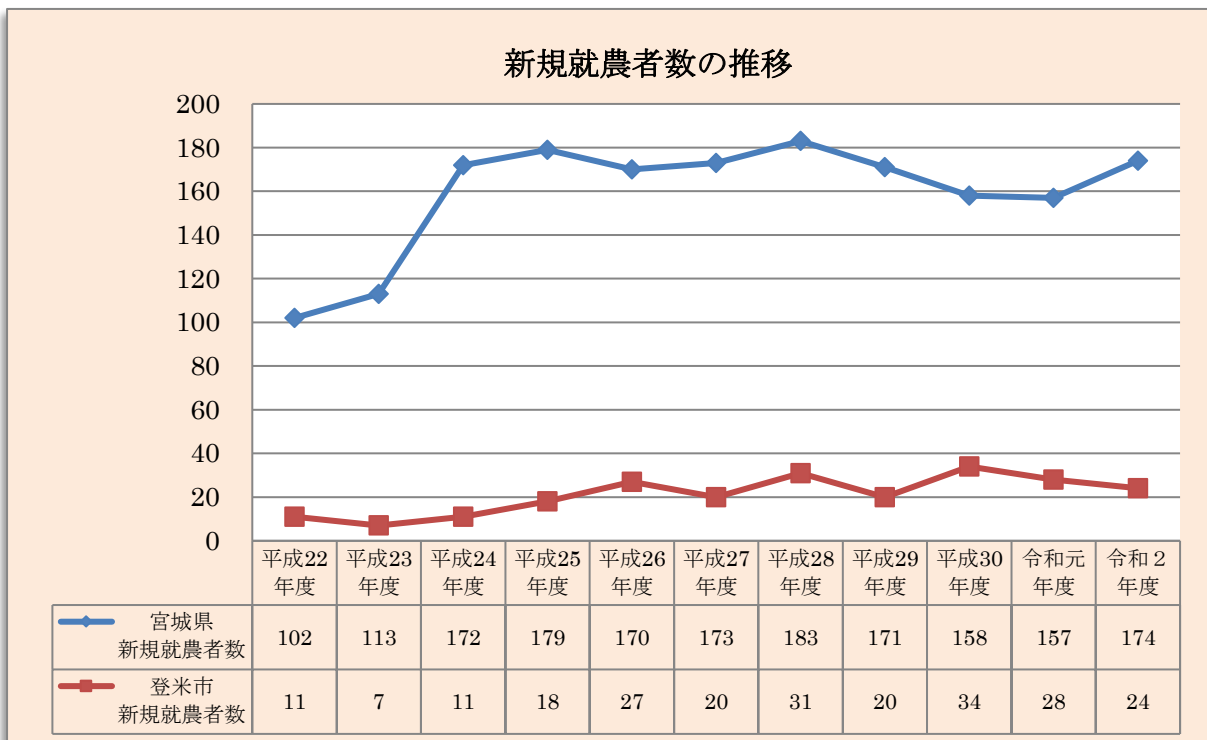
令和3年度末現在の本市の認定農業者数は、763経営体となり前年と比べ20経営体減少しました。また、認定農業者のうち法人数は前年と比べ3経営体増加し、114経営体となっています。



※資料：県 HP、宮城県農業農村の概要及び登米市認定農業者台帳より

4. 新規就農者数

令和2年度の本市の新規就農者数は24人であり、前年と比べ4人減少しました。
※令和3年度のデータが公表され次第内容を更新します。



※資料：登米農業改良普及センター調べにより